


ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



1 619 PA7 277

1 619 PA7 277 (15.01)

マルチクリーナー PRO GAS 10 型 GAS 10PS 型



取扱説明書

このたびは、弊社マルチクリーナー PRO をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
マルチクリーナー PRO についての注意事項	8
●本製品について	
用途	13
各部の名称	13
仕様	14
標準付属品	15
●使い方	
作業前の準備をする	16
クリーナーとして使用する	23
ブロフとして使用する	30
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	33
修理を依頼するときは	35
●お手入れと保管	
クリーニング	36
保管	40

ご安全上の注意

つ本製品について

使い方

困ったときは

保お手入れと保管

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。今回お買い求めいただいたマルチクリーナー PRO には、当てはまらない項目も含まれています。



警告

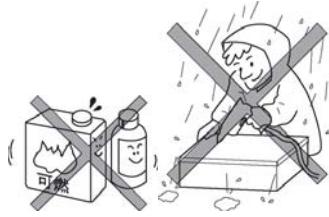
1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

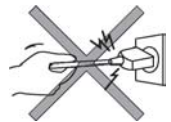
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

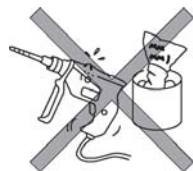
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
 スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。



22. 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。

そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 など

23. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

24. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはポツシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

マルチクリーナー PRO についての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、マルチクリーナー PRO をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警 告

1. 必ずアース（接地）してください。

- ◆ アース（接地）しないと、故障したり漏電したりした場合、感電の原因になります。
- ・ アース線に異常がないか確認してください。
- ・ アース（接地）と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源の使用をお勧めします。
- ・ アース（接地）や漏電遮断器に関して以下の法規がありますのでご参照ください。
 - ・ 労働安全衛生規則（第 333 条、第 334 条）
 - ・ 電気設備の技術基準（第 18 条、第 28 条、第 41 条）

2. アース線をガス管に接続することは、やめてください。

- ・ ガス管への接続は、ガス爆発を招きます。
- ・ 作業場にアース端子を設けるときは、電気工事士（有資格者）に接地工事を依頼してください。

3. 延長コードを使用する際は、必ずアース線を備えた3芯の電源コードを使用してください。

- ◆ アース線のない 2 芯の電源コードを使用すると、感電の原因になります。

4. 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。

- ◆ 表示以外の電圧で使用すると、回転が異常になり、事故の原因になります。

5. 使用中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

6. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、ホースやノズル、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
7. 金属の切り粉、切断作業時に発生する火花、火の付いたタバコの吸いがらなど高温のものや引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）および油、薬液などの液体は絶対に吸じんしないでください。また、引火および発火性のものの近くでは使用しないでください。
 - ◆ 出火や爆発の原因になります。
8. 鋭利なもの（釘やカミソリの刃など）を吸じんしないでください。
 - ◆ 鋭利なものを吸じんすると、けがや故障の原因になります。
9. 人体に害を及ぼす物質（石綿など）は絶対に吸じんしないでください。
10. 使用中は、ノズルやホース接続口に、手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ 近づけるとけがの原因になります。
11. 本体を雨中で使用したり、水などをかけたりしないでください。
 - ◆ 本体がぬれていると、感電や故障の原因になります。
12. 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、本体および電動工具（連動コンセントに接続する）の電源が切れていることを必ず確認してください。
 - ◆ 電源を入れたまま電源プラグを差し込むと、急に動き出し事故やけがの原因になります。

13. 連動コンセントには、二重絶縁および3ピン電源プラグ（アースピン付）付電動工具以外は絶対に接続しないでください。
また、消費電力が、100～1050Wの範囲を超える電動工具は接続しないでください。
 - ◆ 感電や故障の原因になります。
14. 取扱説明書に記載されている目的以外で連動コンセントを使用しないでください。
 - ◆ 事故や故障の原因になります。



注 意

1. アクセサリーは、取扱説明書に指定してあるものを使用してください。
 - ◆ 指定外のアクセサリーを使用すると、故障の原因になります。
2. アクセサリーやモーター部とタンクの接続は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にないと外れたりし、事故の原因になります。
3. 吸じんしたものを取り除くときやアクセサリーを取り付けるとき、または点検・整備の際は必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ◆ 不意に作動すると感電や事故の原因になります。
4. 電源コードを持って運んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから電源プラグを抜いたりしないでください。
 - ◆ コードが損傷し、故障の原因になります。
 - ◆ コードが損傷した場合は、直ちに作業を中止し、修理に出してください。
5. ストープなど高温のものに近づけないでください。
 - ◆ 高温のものに近づけると、変色や変形の原因になります。
6. タンクの中に、汚水や汚物を入れたままにしないでください。
 - ◆ 入れたままにすると、悪臭の発生やタンクのいたみの原因になります。
7. 使用前に、メインフィルターやホースなどのアクセサリーが、確実に取り付けられているか、必ず点検してください。
 - ◆ 確実に取り付けられていないと、事故や故障の原因になります。
8. 本体のノズル・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
 - ◆ 故障の原因になります。

9. 本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。

◆ 故障の原因になります。

10. コンクリートや石材の粉じんなど、粒子の細かなゴミを吸じんする場合は、必ずペーパーバッグを併用してください。

◆ 故障の原因になります。

11. 本体から泡や水が溢れ出たときは、直ちに「メインスイッチ」を切り、タンクを空にしてください。

◆ そのまま使用すると、故障の原因になります。

12. 作業中は、十分に換気をしてください。

13. 椅子や踏み台として使用しないでください。

◆ 本体が転倒すると、事故や故障の原因になります。

14. ウォーター・ジェットなどで直接水を掛けて掃除しないでください。

◆ 本体内に水が入ると、感電や故障の原因になります。

15. 本体をクレーンのフックに掛けて運搬しないでください。

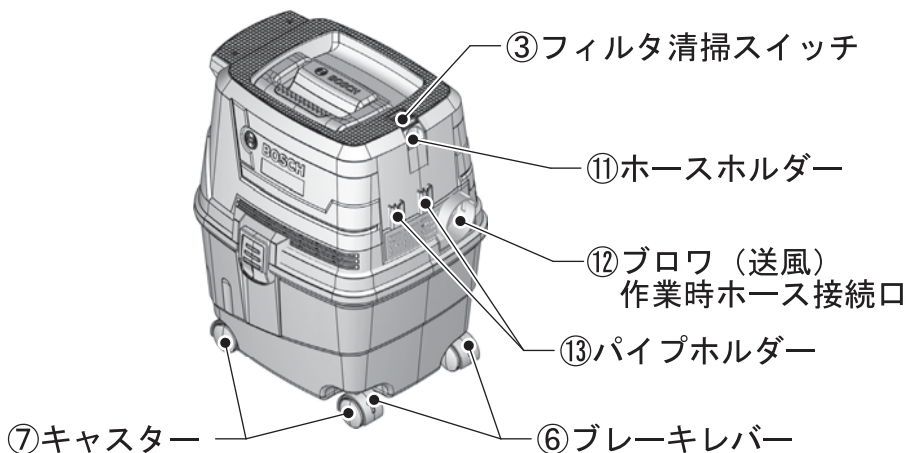
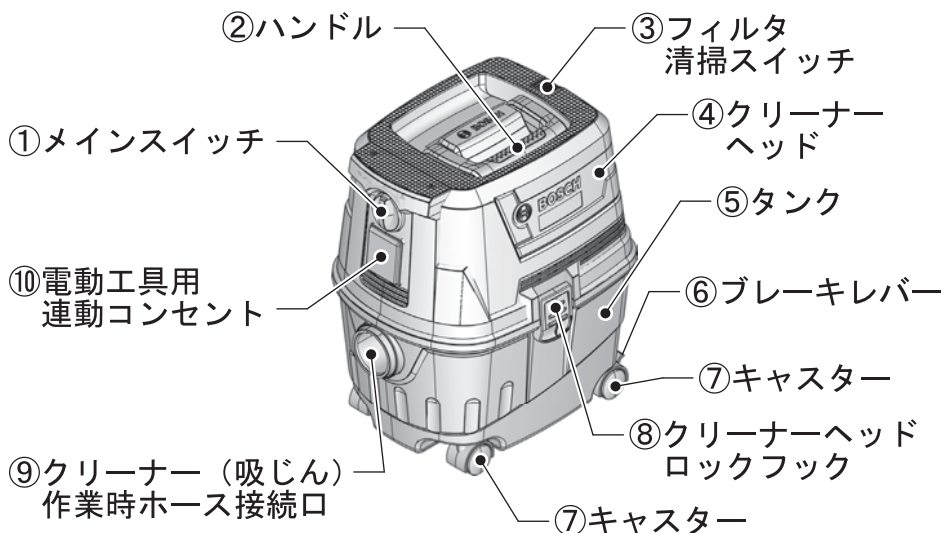
◆ 事故や故障の原因になります。

本製品について

用途

- ◆ ゴミや水の吸引
- ◆ コンクリートや石材の細かい粉じんの吸引
- ◆ 機械類の清掃（送風）

各部の名称



◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

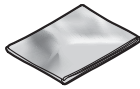
本
製
品
に
て

仕 様

型 番	GAS10/GAS10PS
電 源	単相 AC100V, 50/60Hz
消費電力 (入力)	1100W
風 量	33L/s
真空度*	220hPa (22kPa)
吸じん容量	
一般ゴミ	10L
液 体	8L
連動コンセント (接続可能な電動工具の消費電力)	100~1050W
質 量 (EPTA プロシージャー01/2013 に準拠)	6kg
電源コード	5m

※ φ35mm の真空ホース 3m で測定したとき

標準付属品



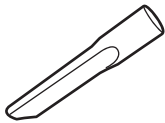
ポリ袋 (1枚)



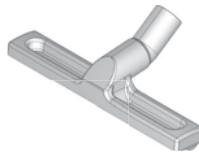
パイプ (2本)



ノズル



すき間ノズル



床用ノズル



φ35 ホース
(3m 帯電防止)



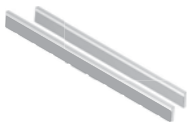
メインフィルター
(本体に組み込み済み)



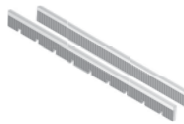
液体フィルター



ノズルアダプター
(GAS10PS のみ)



床用ノズルゴム



床用ノズルブラシ
(床用ノズルに
組み込み済み)

つ本
製
品
に

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

作業前の準備をする

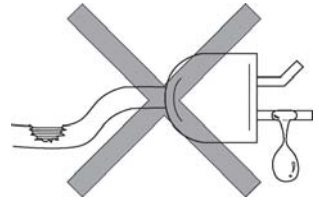


- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグ、アース線が損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



● 使用電源を点検する

- 単相 AC100V (50/60Hz) か？
- 電源コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードやアース線が断線していたり、電源プラグが破損していないか？



● キャスター⑦を固定する・解除する

キャスター⑦を固定すると、本体の動きを止めることができ、作業前の準備をする場合などに便利です。

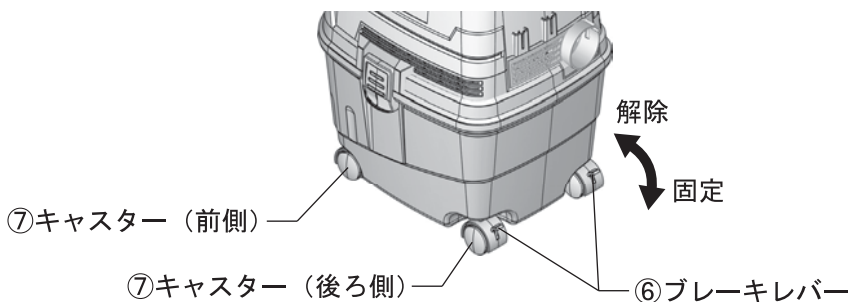
👁️ 本体を動かすときは、キャスター⑦が固定されていないことを確認してください。

固定する

後ろ側のキャスター⑦（左右両方）に付いているブレーキレバー⑥を押し下げます。

解放する

ブレーキレバー⑥を引き上げます。



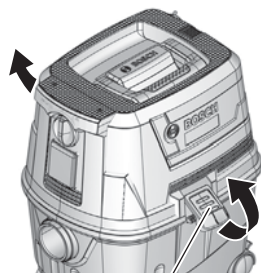
● ポリ袋を取り付ける・取り外す

- 注意** ◆ ポリ袋に粉じんをためすぎないでください。
ポリ袋が破れる原因になります。

☞ ポリ袋は、市販品の45L(幅650mm×深さ800mm)が使用できます。厚さは、0.04mm以上のものをお奨めします。

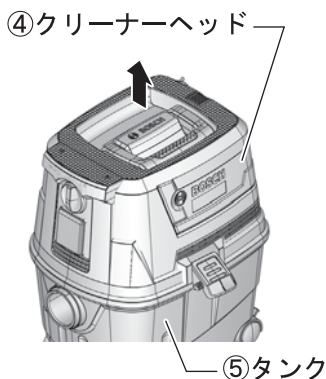
取り付け

1. クリーナーヘッドロックフック
⑧を矢印の方向に引き上げてロ
ックを外します。
クリーナーヘッドロックフック
⑧は、左右にあります。



⑧クリーナーヘッド
ロックフック

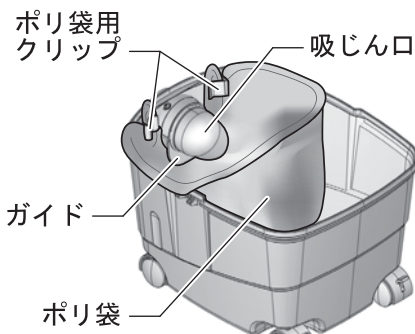
2. ハンドル②を持ってクリーナー
ヘッド④を引き上げ、タンク⑤
から取り外します。



④クリーナーヘッド

⑤タンク

3. ポリ袋の縁を吸じん口の下にあ
るガイドとポリ袋用クリップに
差し込みます。



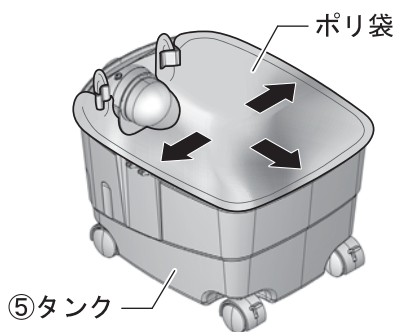
ポリ袋用
クリップ

吸じん口

ガイド

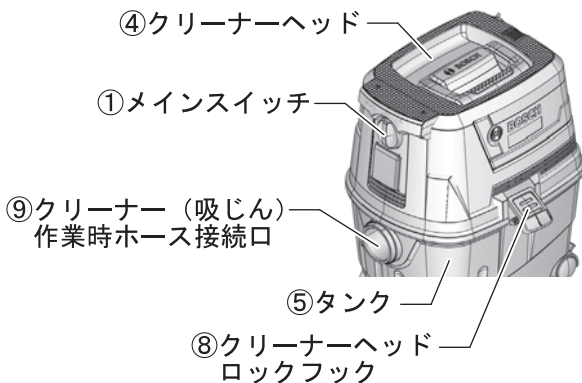
ポリ袋

4. ポリ袋をタンク⑤全体に広げ、
タンク⑤の縁に被せます。

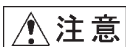


5. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロック
フック⑧で固定します。

☞ クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー（吸じん）
作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。



取り外し



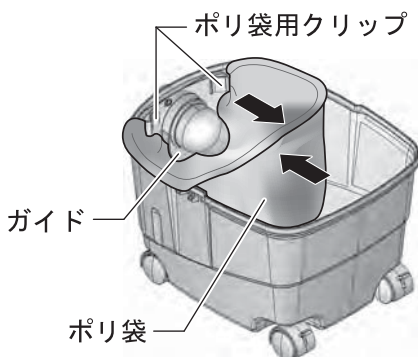
注意

◆ ポリ袋が破れないように注意してください。


1. クリーナーヘッドロックフック⑧を引き上げてロックを外します。
クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。
2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。

3. ポリ袋を吸じん口の下にあるガイドとポリ袋用クリップから外します。

4. ポリ袋をタンク⑤から取り出します。



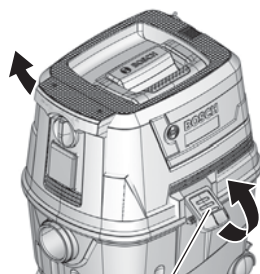
5. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。

 クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー（吸じん）作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。

● 液体フィルターを取り付ける・取り外す

取り付け

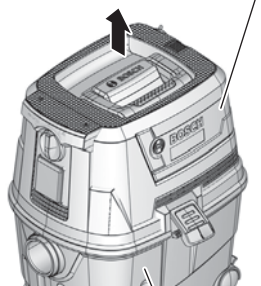
1. クリーナーヘッドロックフック
⑧を矢印の方向に引き上げてロックを外します。
クリーナーヘッドロックフック
⑧は、左右にあります。



⑧クリーナーヘッド
ロックフック

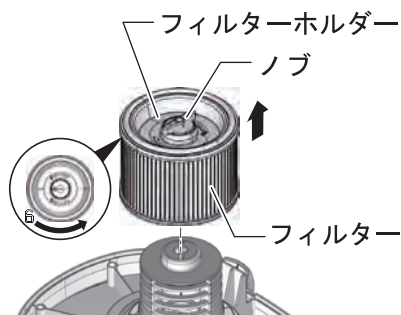
2. ハンドル②を持ってクリーナー
ヘッド④を引き上げ、タンク⑤
から取り外します。

④クリーナーヘッド

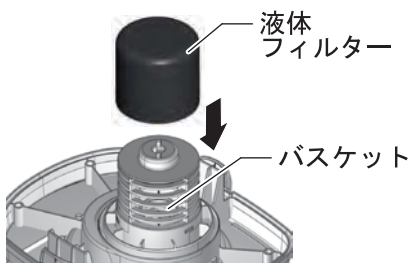


⑤タンク


4. フィルターホルダーのノブを開
く“⑥”の方向にいっぱいま
で回し、フィルターホルダーと
フィルターを取り外します。



5. 液体フィルターをバスケットに
被せます。



6. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。

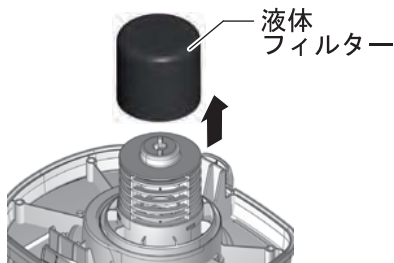
 クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー（吸じん）作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。

取り外し

1. クリーナーヘッドロックフック⑧を引き上げてロックを外します。
クリーナーヘッドロックフック⑧は左右にあります。
2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。


3. クリーナーヘッド④をハンドル②を下にして置きます。

4. 液体フィルターをバスケットから取り外します。



5. メインフィルターを取り付けます。（37 ページ「フィルターに付いたゴミを取り除く」の6~7項の手順で取り付けてください。）

6. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。

 クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー（吸じん）作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。

クリーナーとして使用する




警告


- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、クリーナー本体およびクリーナーに接続した電動工具の電源が“切”になっていることを確認してください。
- ◆ 金属の切り粉、切断作業時に発生する火花、火の付いたタバコの吸いがらなど高温のものや引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）および油、薬液などの液体は絶対に吸じんしないでください。また、引火および発火性のものの近くでは使用しないでください。
- ◆ 必ずアース（接地）してください。
アース線をガス管に接続しないでください。
- ◆ ホースやノズルを取り付けたり、取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



注意

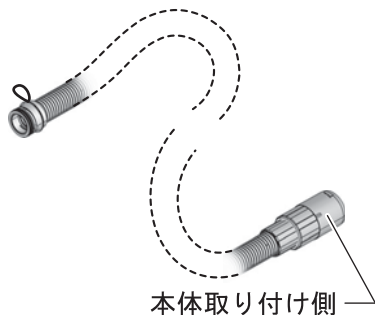
- ◆ 作業するときは、作業場の換気をしてください。
- ◆ 爆発の危険性がある場所で作業しないでください。
- ◆ 再起動のときは、ホースやアダプター、ノズルが確実に取り付けられているか確認してから電源を“入”にしてください。
- ◆ クリーナーは、給水ポンプとして使用しないでください。

 最適な吸じん性能を確保するため、クリーナー本体にホースを巻きつけて使用しないでください。

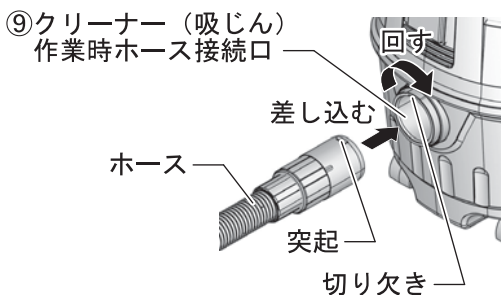
 エネルギーを節約するため、作業するとき意外は「メインスイッチ①」を“入”にしないでください。

● 床用ノズルまたはすきま用ノズルを使用して、乾燥したゴミを吸じんする

1. ホースの形状を確認します。
ホースの端は左右で形状が違います。



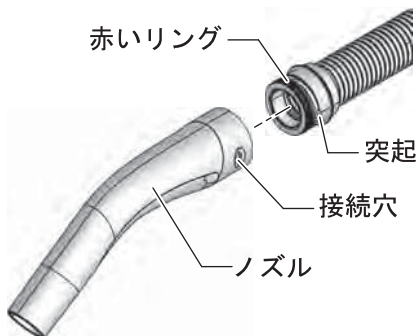
2. ホースの本体接続部の突起とクリーナー（吸じん）作業時ホース接続口⑨の切り欠きを合わせて、ホースを差し込み、矢印の方向に回します。



3. ホースを軽く引いて、抜けないことを確認します。

4. ホースにノズルを取り付けます。

- 1) ホースの先端にある、赤いリングを内側に押し込んでノズルに差し込む。
- 2) 赤いリングの突起とノズルの接続穴を合わせて固定する。



5. ノズルを軽く引いて、抜けないことを確認します。

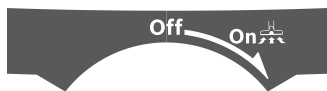
6. ノズルの先端を、パイプに差し込みます。
パイプには、経が大きい側と小さい側があります。径が大きい側に差し込んでください。
 - ☞ パイプは2本付属されています。作業に合わせて、長さを調節してください。
 - ☞ すきま用ノズルを使用する場合は、パイプを使用せず、ノズルに直接すきま用ノズルを接続しても使用できます。
7. パイプを床用ノズル、またはすきま用ノズルに差し込みます。
8. クリーナーの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
9. 「メインスイッチ①」を“入”にして、作業を開始します。

電源の入/切

GAS10

On 
電源“入”：クリーナーが始動します

Off
電源“切”：クリーナーが停止します



GAS10PS

1 
電源“入”：クリーナーが始動します

0
電源“切”：クリーナーが停止します



10. 「メインスイッチ①」を“切”にして、作業を終了します。

ノズル・ホースの取り外し

1. ノズル・パイプを取り外します。
2. ホースの本体接続部を左（反時計方向）に回し、ホースを引き抜きます。

● 電動工具を接続して吸じんする (GAS10PS のみ)



警告

◆ 電動工具の電源プラグをクリーナーの電動工具用連動コンセント⑩に差し込むときは、クリーナーの電源プラグを電源コンセントから抜き、電動工具の電源を切ってください。

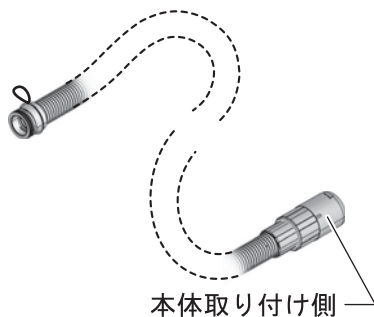


注意

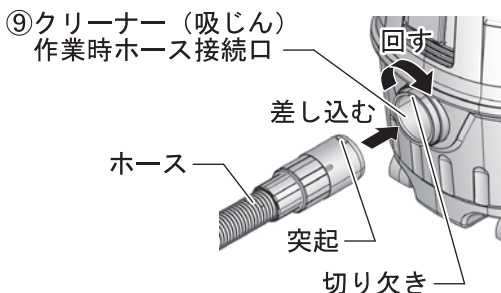
◆ クリーナーの「メインスイッチ①」が“**1** 止

接続できる電動工具の消費電力：100W～1050W

1. ホースの形状を確認します。
ホースの端は左右で形状が違います。



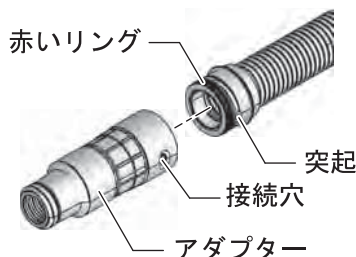
2. ホースの本体接続部の突起とクリーナー（吸じん）作業時ホース接続口⑨の切り欠きを合わせて、ホースを差し込み、矢印の方向に回します。



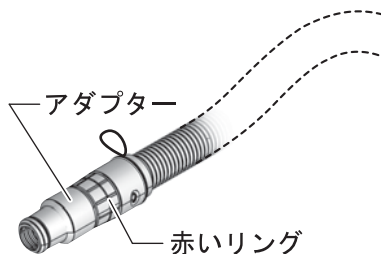
3. ホースを軽く引いて、抜けないことを確認します。

4. ホースにアダプターを取り付けます。

- 1) ホースの先端にある、赤いリングを内側に押し込んでアダプターに差し込む。
- 2) 赤いリングの突起とアダプターの接続穴を合わせて固定する。



5. アダプターを軽く引いて、抜けないことを確認します。
6. 電動工具の吸じんホース差込口にアダプターを接続します。
7. 電動工具の電源プラグをクリーナー本体の電動工具用連動コンセント⑩に差し込みます。
8. アダプターの赤いリングを回して、通風口を閉じます。



9. クリーナーの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
10. 「メインスイッチ①」を“自動始動/停止”にします。



自動始動・停止：電動工具の作動に合わせて、始動・停止します。



電源“入”：クリーナーが始動します



電源“切”：クリーナーが停止します

11. 電動工具の電源を“入”にして、作業を開始します。
電動工具の電源を“入”にすると、クリーナーは自動的に始動します。
12. 電動工具の電源を“切”にして、作業を終了します。
電動工具の電源を切ると、クリーナーは自動的に停止します。
ホース内の残留物を吸じんするため、電動工具が停止してから最大 6 秒間クリーナーは作動を続けます
クリーナーをすぐに停止させたいときは、「メインスイッチ①」を“0”にして電源を切ってください。

電動工具、ノズル、ホースの取り外し

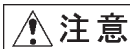
1. クリーナー本体から電動工具の電源コンセントを抜きます。
2. 電動工具の吸じんホース差込口からアダプターを抜きます。
3. ホースの本体接続部を左（反時計方向）に回して引き抜きます。

● 水が混ざったゴミを吸じんする




警告

- ◆ 感電を防ぐため、アース（接地）してください。
- ◆ 引火性、爆発性、発火性のゴミ（ベンゼン、油、アルコールなど）は吸じんしないでください。
- ◆ 給水ポンプとして使用することはできません。



注意

- ◆ 水が混ざったゴミを吸じんする前に、ポリ袋を取り外してください。
- ◆ 液体フィルターを使用してください。

 液体フィルターを使用すると水とゴミが分離され、作業後の処理が簡単になります。

1. 液体フィルターを取り付けます。
（21 ページ「液体フィルターを取り付ける・取り外す」参照）
2. 床用ノズルに床用ノズル用ゴムを取り付けます。
（39 ページ「床用ノズルブラシ・床用ノズルゴムを交換する」参照）
3. ホースやパイプを取り付けます。
「床用ノズルまたはすきま用ノズルを使用して、乾燥したゴミを吸入する」（24 ページ）の 1 項から 6 項の手順で、取り付けてください。
4. パイプに床用ノズルを取り付けます。
5. クリーナーの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
6. 「メインスイッチ①」を“入”にして、作業を開始します。

電源の入/切

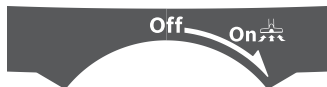
GAS10

On 

電源“入”：クリーナーが始動します

Off

電源“切”：クリーナーが停止します



GAS10PS

1 

電源“入”：クリーナーが始動します

0

電源“切”：クリーナーが停止します



注意

- ◆ 本機には、水が吸じん容量に達すると、吸じんを停止するフロート機構がついております。

（吸じんが停止しても電源は切れません）

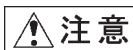
水を吸い込まなくなった場合は、直ちに電源を切り、タンク内の水を捨ててください。水を吸い込まなくなった状態で、長時間電源を入れたままにすると、加熱により本体が変形する恐れがあります。

- ◆ 泡や石けん水などは吸いこまないでください。フロート機構が正しく作動せず、感電や故障の原因になります。

10. 「メインスイッチ①」を“切”にして、作業を終了します。

ノズルとホースの取り外し

1. 床用ノズル、パイプを取り外します。
2. ホースの本体接続部を左（反時計方向）に回しながら、引き抜きます。



注意

- ◆ 水を吸引した後は、タンク⑤を空にしてきれいに清掃し、かびないようによく乾燥させてください。
- ◆ ホース内やホース取り付け部に水が残っている場合があります。取り外すときに水がかかることがありますので注意してください。

● ホースを取り付ける・取り外す

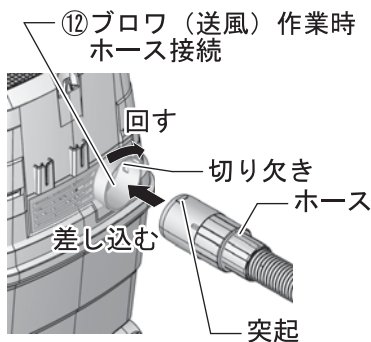
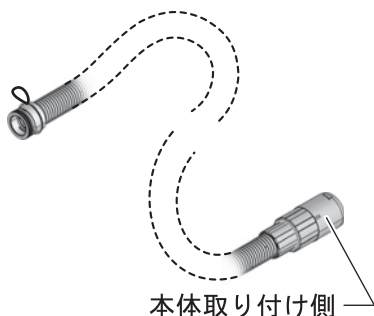


警告

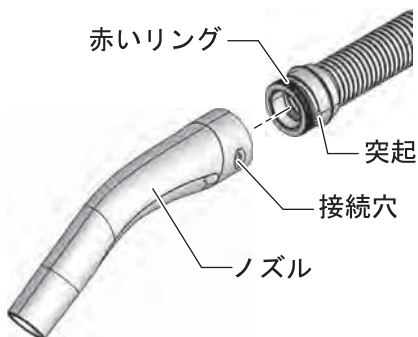
- ◆ ホースを取り付けたり、取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ きれいなホースを使用して作業してください。汚れたホースを使用すると、ホースに付着していた粉じんが排出される可能性があります。

取り付け

1. ホース内が汚れているときは、ホース内のゴミを吸じんします。
クリーナーとして使用する状態で、「メインスイッチ①」を“入”にし、5秒以上吸じんしてください。
2. ホースの形状を確認します。
ホースの端は左右で形状が違います。
3. ホースの本体接続部の突起とブロワ（送風）作業時ホース接続口⑫の切り欠きを合わせて、ホースを差し込み、矢印の方向に回します。
4. ホースを軽く引いて、抜けないことを確認します。



5. ホースにノズルを取り付けます。
 - 1) ホースの先端にある、赤いリングを内側に押し込んでノズルに差し込む。
 - 2) 赤いリングの突起とノズルの接続穴を合わせて固定する。



6. ノズルを軽く引いて、抜けないことを確認します。

取り外し

1. ノズルを取り外します。
2. ホースの本体接続部を左（反時計方向）に回し、ホースを引き抜きます。

● 作業する

1. クリーナーの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 「メインスイッチ①」を“入”にして、作業を開始します。

電源の入/切

GAS10

① 

電源“入”：クリーナーが始動します

② 

電源“切”：クリーナーが停止します



GAS10PS

① 

電源“入”：クリーナーが始動します

②

電源“切”：クリーナーが停止します





3. 「メインスイッチ①」を“切”にして、作業を終了します。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ①」を“入”にしても作動しない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに差し込む
吸引力が弱い	タンク⑤がゴミでいっぱいになっている	タンク⑤のゴミを捨てる (38 ページ参照)
	メインフィルターが目詰まりしている	メインフィルターを掃除する (36 ページまたは 37 ページ参照)
	パイプ・ホース・ノズルにゴミが詰まっている	パイプ・ホース・ノズルのゴミを取り除く
	パイプ・ホース・ノズルが正しく接続されていない	パイプ・ホース・ノズルを正しく接続する
	吸引力調整リングの空気窓が大きく開いている	吸引力調整リングの空気窓の開きを調節する
クリーナーヘッドロックフック⑧がきちんと留められていない	クリーナーヘッドロックフック⑧を正しく留める	
「メインスイッチ①」を“入”にしてもすぐに停止してしまう	タンク⑤の液体が最大吸引容量に達している	タンク⑤の液体を捨てる

症 状	原 因	対 処
接続している電動工具の電源を入れてもクリーナーが作動しない	<p>クリーナーの「メインスイッチ①」が連動“1+”になっていない</p> <p>電動工具の電源プラグがクリーナーの電動工具用連動コンセント⑩にしっかり差し込まれていない</p>	<p>クリーナーの「メインスイッチ①」を連動“1+”にする</p> <p>電動工具の電源プラグをクリーナーの電動工具用連動コンセント⑩にしっかり差し込む</p>
タンク⑤のゴミを捨てたあと、再起動しない		一度「メインスイッチ①」を“切”にし、5秒後に再度“入”にする

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

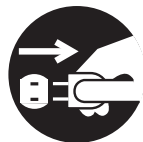
〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜き、お手入れをしてください。



クリーニング

- 乾いた、柔らかい布で本体およびパイプ・ホース・ノズルの汚れをふき取る

 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

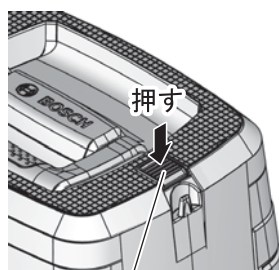
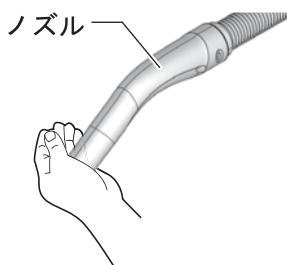
- パイプ・ホース・ノズル内に付いたゴミを取り除く
- フィルター清掃機能でフィルターを清掃する

クリーナーの吸じん力が十分でないときは、フィルターの掃除を行ってください。

掃除する頻度は、吸じんしたゴミの種類や量によって異なります。

ノズルの口を手で塞ぎ、「フィルター清掃スイッチ③」を押します。

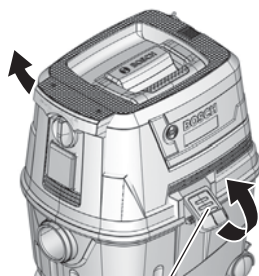
1回の清掃に、2~3回「フィルター清掃スイッチ③」を押すことをお勧めします。



③フィルター清掃スイッチ

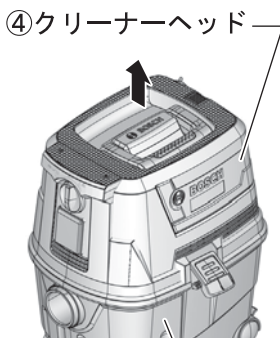
● フィルターに付いたゴミを取り除く

1. クリーナーヘッドロックフック
⑧を矢印の方向に引き上げてロ
ックを外します。
クリーナーヘッドロックフック
⑧は、左右にあります。



⑧クリーナーヘッド
ロックフック

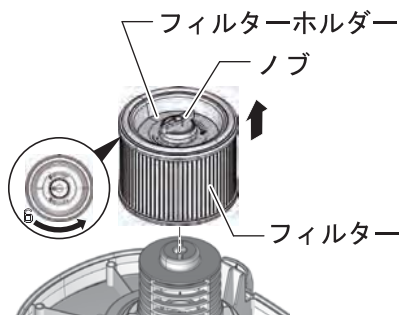
2. ハンドル②を持ってクリーナー
ヘッド④を引き上げ、タンク⑤
から取り外します。
3. クリーナーヘッド④をハンドル
②を下にして置きます。





④クリーナーヘッド

⑤タンク

4. フィルターホルダーのノブを開
く“⑥”の方向にいっぱいま
で回し、フィルターホルダーと
フィルターを取り外します。



保
お
手
入
れ
と
管

5. フィルターに付いたゴミを取り除きます。
プラスチック部分を軽くたたいてゴミを振り落とししてください。
その際、フィルターを変形、破損させないように注意してください。
特に汚れがひどいときは、水で洗い流してください。その際、フィルターを傷つけないように注意してください。（ブラシは使用しないでください。）
水洗いしたあとは、陰干しでよく乾燥させてから使用してください。
 ゴミを取り除けない場合、または損傷がある場合は新しいものに交換してください。
6. 清掃した、または新しいフィルターをバスケットに被せます。
7. フィルターホルダーをセットし、ノブを“”方向にいっぱいまで回し、フィルターを固定します。
8. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。
クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。

タンク⑤のゴミまたは水を捨てる



警告 ◆ 必ず、クリーナーの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1. クリーナーヘッドロックフック⑧を引き上げてロックを外します。
クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。
2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。
3. タンク⑤のゴミまたは水を捨てます。

ゴミ

タンクを傾けてゴミを捨てるか、ポリ袋ごと捨てる。
ポリ袋ごと捨てたときは、ポリ袋を取り付けてください。
(18 ページ「ポリ袋を取り付ける・取り外す」参照)

水

タンク⑤を傾けて捨てます。

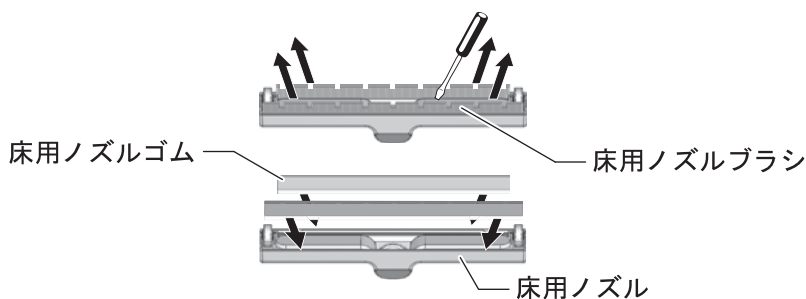
☞ タンク⑤の汚れがひどいときは、市販の研磨剤が入っていない洗剤でタンク内を清掃し、かびないようによく乾燥させてください。

4. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。
クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。

● 床用ノズルブラシ・床用ノズルゴムを交換する

取り外し

マイナスドライバーを床用ノズル本体とブラシまたはゴムの間に差し込み、ブラシまたはゴムを引き上げて外してください。



取り付け

床用ノズル本体にブラシまたはゴムを差し込みます。

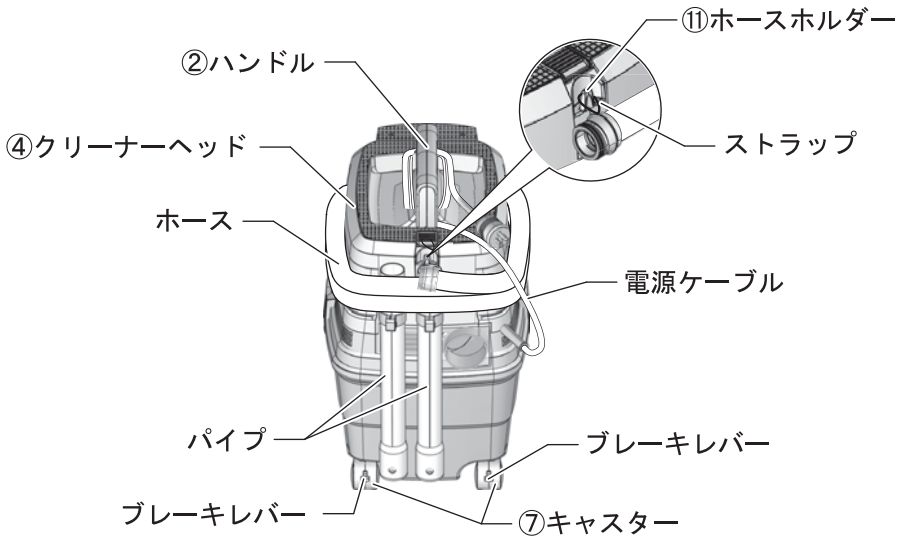
ブラシまたはゴムの短いほうを吸入口側に取り付けてください。

☞ ゴムを取り付けるときは、ヒダのある側を外に向けて取り付けてください。

保
お
手
入
れ
と
管

● 収納する

1. パイプホルダー⑬にパイプを取り付けます。
2. ホースをクリーナーヘッド④に巻きつけ、ホースのストラップをホースホルダー⑪に引っ掛けます。
3. 電源ケーブルをハンドル②に巻き付けます。
4. キャスター⑦をロックする。



お手入れと
保管

● クリーナーを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- キャスター⑦を解除したまま置かない。

